

森村桂さんの軌跡を紹介する展示が人気です

19日、郷土博物館（大宮1丁目20番8号）で、杉並区で活動していた作家、森村桂さんの直筆原稿や自身が描いた絵画、愛用品など約80点を展示しています。森村さんは、代表作「天国にいちばん近い島」をはじめ、「青春」や「夢」をテーマに書いた作品が多くの人に勇気を与え人気となっています。展示は11月29日まで行われています。

森村桂さんは、作家である父親の影響を受け、「青春」や「希望」などをテーマにした本を多く手掛けた作家です。幼少のときに、父親から「天国にいちばん近い島」として教えられたニューカレドニアへ行きたいという夢を、海外旅行が難しかった1964年当時、24歳で実現させました。

その際の現地での驚くべき体験を書いた「天国にいちばん近い島」は、「風変わりな世界冒険」と話題になり、多くの人々の興味を惹き、森村さんの代表作となりました。



今回の展示は、森村さんが西荻窪に住み、執筆活動に加えて、料理教室やボランティア活動を行う「もうひとつの学校」を立ち上げ、活動拠点としていたこともあり、森村さんの活動の軌跡を多くの人に知ってもらおうと実現しました。会場では、原稿や小説、趣味のお菓子作りで使った調理道具、愛用していた衣服など、人々に夢と希望を与えた森村桂さんの人生を紹介しています。

“夢の配達人” 森村桂 『天国にいちばん近い島』からはじまるものがたり

[開催日時]10月17日～11月29日 午前9時～午後5時

[休館日]毎週月曜日・毎月第3木曜日（祝日と重なった場合は開館、翌日休館）

[開催場所]区立郷土博物館（大宮1丁目20番8号）

[その他]郷土博物館ホームページ

<http://www2.city.suginami.tokyo.jp/histmus/index.asp>

【報道機関 問い合わせ先】

郷土博物館 電話 03-3317-0841

総務部広報課 電話 03-3312-2111